

先天性腎尿路異常

(Congenital anomalies of the kidney and urinary tract : CAKUT)

先天性腎尿路異常とは、尿の作られる腎臓、尿の通り道である尿管、膀胱、尿道を含めた腎尿路の先天的な形の異常を示します。

その原因は一つではなく、遺伝によるものや、環境によるものなど様々な因子が関与していると考えられており、現在でも不明な点が多いです。

異常の種類や程度にもよりますが、先天性腎尿路異常は、小児期の慢性腎不全の原因の約半数を占める重要な疾患です。

日本では周産期医療が進んでいるため、多くの場合、お母さんのお腹にいる時に発見されることが多いですが、生まれた後に尿路感染症や体重増加不良の検査中に発見される事もあります。

その種類や程度によって、対応や注意点なども変わってきますので、主治医の先生ともよく相談しましょう。

表 1 CAKUT の種類			
腎	腎無形成	尿管	異所開口尿管
	腎異形成		尿管瘤
	腎低形成		腎盂尿管移行部狭窄
膀胱	多嚢胞異形成腎	膀胱	膀胱尿管移行部狭窄
	馬蹄腎		巨大尿管
	重複腎盂尿管	尿道	膀胱尿管逆流
			膀胱憩室
			後部尿道弁

(小児腎臓病学より引用)